

IOC調整委員会コーツ委員長等の知事面会 コーツ委員長 面会后発言

日時：令和元年10月25日（金） 17：25ごろ

場所：7階ホール

【記者】

今、都知事との会談、かなり長時間にわたって行われましたが、IOCのコーツさんの方から提案された札幌案について、小池知事は納得されたのでしょうか。合意は得られたのでしょうか。

【コーツ委員長】

知事の方から、これは決して驚くべきことではないと思うのですが、東京都民ですね、一般の意見を御説明くださいますと、大変失望しておられると、いう意見を述べられました。

あの、彼女は、彼女の周りのアドバイザーたちと考えてみたい、というふうにおっしゃいました。科学そして、医学的な私どもの申し上げた情報に基づいて考えてみたい、とおっしゃいました。我々のWBGTの専門家が来週参ります。これは、私はこれ以上専門的知識がないので、これ以上説明できないのですが、WBGTというのは、温度と湿度とをかみ合わせた、そういうものです。

【記者】

来週IOCの調整委員会が行われるわけですけど、引き続きその会議の場でも東京が今の通りに東京で開催をと求めた場合IOCとしてはどうされるのでしょうか。

【コーツ委員長】

調整委員会においては、議論、そして皆さんご覧になったペーパーですね、これをさらに説明してまいります。これは、東京が主張したらどうするかという問題ではなくて、もう意思決定はされてしまっているのです。

IOCの理事会はこういう決定をする権限を持っている主体です。それはオリンピックの憲章に基づいて常にアスリートの健康を基に決定をするということで、そういう根拠で決定がなされております。

【記者】

先ほどの会談の冒頭で、コーツ委員長の方から男女のマラソンの表彰式を東京でということと、それは、男女のマラソンの表彰式は東京で行われるということによろしいのかということと、競歩についてはどうされるのでしょうか。

【コーツ委員長】

私共といたしましては、東京都民のために、初めてメダルの授賞式を男女共に東京で行いたい。閉会式と同時にこれを行いたいというふうに考えております。そして、競歩に関しましては札幌ではなくて、やはり東京でほかの陸上と同じ夜のセッションにおいて行いたいというふうに考えております。

ほかのイニシアチブを私ども提案しておりまして、まだお答えはいただけてはいませんが、検討して下さるといふふうに思いますが、ほかのアスリートたちですね、サイクリング、ヨット、マラソン、競歩などについてですけれども、オープンバスでパレードをする、リオの大会の後そうであったように、オープンバスでパレードをする機会を与えていただきたいという風に考えております。リオの際には80万人の人たちがパレードを見守ったわけですが、アスリートたちはそれをしてもらう価値がありますし、東京の人たちも大変それに満足するであろうと考えます。

【記者】

予算についてですが、2020年のオリンピック・パラリンピックは予算がきつい中で札幌に会場を移動した場合、どこが負担をするのでありましょか。

【コーツ委員長】

申し上げたように、また、知事にも申し上げたように、IOCが権限ある主体であります。このように会場変更というような重大なことであり、また、重大な財務的な影響がある場合にはそれは計算をして数字をはじき出し、IOCと組織委員会の間で話し合うべきことと考えます。

予算がきつとおっしゃったんですけれども、予算のバージョン3をご覧いただきたいと思えます。去年の12月、組織委員会と都庁が一緒に出したものです。かなりの偶発資金があるわけです。このようなイベントに備えてですね。予見しない状況のために備えてして偶発資金があります。

【記者】

組織委員会の森会長はIOCに払ってほしいと、今回の追加経費については。それについてIOCは払うお考えはあるんでしょうか。

【コーツ委員長】

私が申し上げたように、また、明白にもしていると思うのですが、財務的なマイナスの影響があれば、これについてはIOCに伝えてほしいということでございます。森会長にも申し上げましたし、そして知事にも申し上げました。それに対応する義務がIOCにはあるということです。

【記者】

今の確認をまずさせて欲しいんですけど、ということはIOCと組織委で話し合った場

合、都が負担することは全くないのかということと、今後、東京都が何か新しい対策をして東京都に戻すというか、札幌でなく東京都で開催するために何か手を講じる方法はないのかとう確認をお願いします。

【コーツ委員長】

二番目のご質問に関しては、ノーです。東京に戻るということにはないです。

最初のご質問の答えとしては、マイナスの財務的な影響については全て洗い出して検討し、それは組織委員会のものに関しても、東京都のものに関してもそれは洗い出し、それに対応するという事です。

【記者】

東京都のこれ以上の支出はないということでしょうか。

【コーツ委員長】

東京で行わないことに関する負担がどのくらいであるかということを見なければならぬし、組織委員会が札幌でこの種目を行うことに対して追加的な経費を負わなければならないだろうし、それから偶発の事象のための資金が何のために使われるかということも見てみなければなりません。

組織委員会と東京都でお互いに話し合っただきましてコストの内訳を出していただきまして、それから偶発事象の資金がどのくらいであるかということも見たうえで、その後、IOCとしては契約上の義務を逃れるつもりはありません。